

The Green-GO 5 コントロールソフトウェア

歴史

2011年にGreen-GOが登場した当初は、アナログパーティーラインシステムと大型マトリックスシステムの間市場をターゲットとしていました。

しかし、Green-GOがより多くの現場で受け入れられ、好まれるようになるにつれ、用途が変化してきました。小規模な会社がアナログパーティーラインを置き換えるだけでなく、大規模な会社も柔軟性とコスト面の理由から、マトリックス型システムをGreen-GOに置き換えるようになったのです。こうした利用ケースの変化により、従来のコントロールソフトウェアは限界に達しました。

元々このソフトウェアは、設定の事前プログラミング用にオフラインツールとして設計され、一部オンライン機能も備えていました。

ファームウェアにもいくつかの変更や機能追加が行われましたが、まだ改良の余地がありました。そのため、開発を完全に再スタートし、コントロールソフトウェアとファームウェアの両方をゼロから再設計しました。

全面的な刷新

ここ数年で、Green-GOはインカム市場において人々を惹きつける存在に成長しました。Green-GOは、顧客のニーズやフィードバックを真剣に聞き入れ、その利用ケースや要望に真摯に対応してきました。

- 初心者ユーザーにとっては、システムを素早くセットアップして稼働させること、そしてシステムの使い方についてのガイダンスが必要でした。
- 上級ユーザー向けには、より複雑な機能が必要でした。
- 完全なオンライン制御システムが必要とされ、複数ユーザーのシナリオにも対応する必要がありました。
- グラフィックアプローチを追加することで、可視性が高まり、素早くアクセスできるようになります。

新しい機能と特徴



システムは根本から再設計され、新しい技術が導入されました。

- デバイスとの信頼性の高い通信を確保するため、ソフトウェアとデバイス間の接続方式が完全に新しくなりました。

- 同じ帯域幅でより高音質を実現するために、改良されたオーディオエンジンが搭載されました。
- デスクトップ (Windows / macOS) やタブレット (Android / iOS) で、同時に同じ体験ができる真のクロスプラットフォーム&マルチユーザーデザインが採用されています。
- サイト間通信、リモート管理、サポートのためのクラウドベースのソリューションが導入されており、このような接続設定を非常に簡単に行えるようになっています。

これらの技術的な利点とあわせて、Green-GO 5 には多くの改良点と新機能が詰め込まれています。

- 3000人までを個別に設定できるユーザー数
- 400 グループ
- 選択可能なサンプリングレート：16kHz、32kHz、または48kHz。オーディオ帯域幅は8kHz、16kHz、または24kHzです。
- ヘッドセット間の遅延は10ミリ秒です。
- 同じネットワーク帯域幅で、音質が2倍向上します。
- 「Rooms」は、同じ物理空間内のデバイスが特定の動作を行うことを可能にする機能です。
- チャンネルには、動作を完全にカスタマイズできる多くの追加オプションがあります。
- デバイスプロファイルにより、正確な事前準備が可能になり、現場でのセットアップ時間を最小限に抑えることができます。
- カスタマイズ可能なデフォルト設定
- クイックスタートとセットアップウィザードによって、ユーザーが構成のさまざまな部分を簡単に作成できるよう支援します。
- すべての設定やレベルを完全にライブで制御・監視できます。

🕒 2022年7月20日 🕒 2021年2月1日 👤 Henk-Jan Blok, Timo Toups